

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所5号機の緊急時対策支援システムへの
プラントデータ伝送の一時的な不具合について

平成24年1月30日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

平成24年1月29日午後3時5分より、当所5号機のプラントデータのうち、緊急時対策支援システム（ERSS）*へのデータ伝送が、一時的に停止する事象を確認いたしました。

このため、同日午後5時41分頃に当該回線の装置をリセットし、同日午後5時43分に不具合は解消しております。

その後、ERSSへのデータ伝送は正常に行われており、一時的な不具合であったものと推定しております。

なお、この間も含めて、当発電所におけるプラントの監視機能については問題ありません。

以上

*** 緊急時対策支援システム（ERSS）**

原子力発電所において事故が発生した場合、事故の状態を監視し、その後の事故の進展をコンピュータにより解析・予測するシステムとして国が開発したもの。

当発電所からも、通常時からプラントデータを国の当該システムへ伝送している。